

瓜生小だより

平成30年度 第13号
平成31年2月28日



一つのことを続けること

校長 吉田 正行

2月22日、宇宙航空研究開発機構（JAXA 通称ジャクサ）は探査機「はやぶさ2」が、地球から3.4億キロ離れた小惑星「リュウグウ」に着陸したと発表しました。わずか半径3メートルのエリアに、ゆっくり降下し、成功につながったそうです。2005年の初代「はやぶさ」以来で、小惑星の砂や石の採取に成功すれば世界2例目となります。

「はやぶさ2」計画の責任者を務める津田雄一（つだゆういち）さんは、3.4億キロ離れた小惑星リュウグウに探査機を着陸させることは、「地球上のバスケットボールのゴールを宇宙から狙うようなものです」と言っています。いかに困難で難しい計画であったかが推測できます。昨年10月末にリュウグウの地形が険しく着陸が延期された時も、岩一つ一つの高さや形を10センチ単位で再現した三次元地図を元に、姿勢を制御するエンジン12基の「癖」を踏まえた誘導プログラムを作成し、はやぶさ2に教え込ませたそうです。そして着陸精度を当初の約20倍に高め、安定した着陸を成功させました。できない理由を並べるのではなく、失敗を繰り返しながらも目標に向かって諦めずに努力を続けたことが、壮大な夢の実現につながったのです。

また、2月20日にオリンピック・パラリンピック教育の一環として、北京オリンピックのバレーボール日本代表である山本隆弘選手と櫻井由香選手にご来校いただき、話を聞く機会を設けました。そこでも二人のアスリートから、目標を決め、諦めずに一つのことを続けること、努力を積み重ねることの大切さを教えていただきました。



バレーボールの楽しさや目標に向かって努力することの大切さを学びました。

さて、いよいよ3月に入り、子供たちは学習のまとめに一生懸命取り組んでいます。卒業間近の6年生との会食も終了となり、3月1日には6年生を送る会を行います。いよいよ卒業が実感として迫ってくる時期になりました。6年生には自分の夢を叶えるために、小さなことでも一つ一つ丁寧に続けることが最も大切であるということを心に刻み、努力を積み重ねられる人になってほしいと願っています。

この一年間、学校の教育活動を進めるにあたり、保護者や地域の皆様から多くのご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。新年度も瓜生小学校をよろしくお願いいたします。

【生活習慣のふりかえり 2月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしいことば
優しい言葉

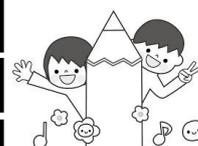
優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしよ
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてくださいよう願いたします。